



東北医科薬科大学病院の専門研修プログラム

—専攻医 募集案内—

ACCESS MAP



- 
仙石線 「JR仙台駅」から石巻方面下り電車に乗車(約16分)し、「陸前高砂駅」にて下車、徒歩約7分
- 
宮城交通バス 「仙台港フェリーターミナル行(アウトレット、夢メッセみやぎ経由)」に乗車し、「陸前高砂駅前」にて下車、徒歩約7分
- 
仙台市営バス 「高砂市営住宅西行」に乗車し、「陸前高砂駅前」にて下車、徒歩約7分
 「蒲生(中野新町)行」に乗車し、「東北医科薬科大学病院入口」にて下車、徒歩約3分
- 
車 仙台東部道路「仙台港IC」より約5分

Being the Pioneer of
the Medical Front
for TOHOKU

お問い合わせ

東北医科薬科大学病院
医学部卒後研修支援センター

TEL:022-259-1221(内線1478)

E-mail:kenshu-shien@tohoku-mpu.ac.jp

<http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/resident/>

2020.10

当院の専門研修について



東北医科薬科大学病院では、東北医科薬科大学若林病院、医学部地域医療教育サテライトセンターと連携し、人的ネットワークの構築や学生、研修医教育に取り組んでいます。

質の高い専門医の育成には、最新の機器や技術を駆使したより高度な診療経験から、地域医療における診療経験まで、幅広い研修が必須です。

当院では、common diseaseから専門疾患まで偏りない豊富な症例を経験でき、連携施設も多様です。当院の専門研修プログラムを通して、全人的な診療ができる知識・態度・技能を備えた専門医を育成します。

私は初期研修医として当院へ入職し、2年間の初期研修の後、当院の内科専門研修プログラムで研修を行っています。現在は、内科専門医の取得を目指し勉強中です。また、糖尿病領域の専門医取得を視野に、知識を深めようと日々診療に当たっています。

糖尿病は重症化すると失明や透析が必要な生活を送らなければならない病気です。そうならないためにも、生活習慣を見直し、食事や運動療法を継続してもらう必要があります。そのため、医学的な知識の他にコミュニケーション能力が必要とされ、難しさを感じる時もあります。ですが、診療科の先生方、スタッフが親身にサポートしてくださり、とても心強いです。進化した糖尿病腎症への取り組みに関して当院は全国屈指の診療レベルです。尊敬できる先生方がいるのが大きな魅力です。

また、大学病院でありながら、もともとは市中病院であったことから、診療科間の垣根も低く、コメディカルの方々との連携も密で、とても働きやすい環境だと思います。



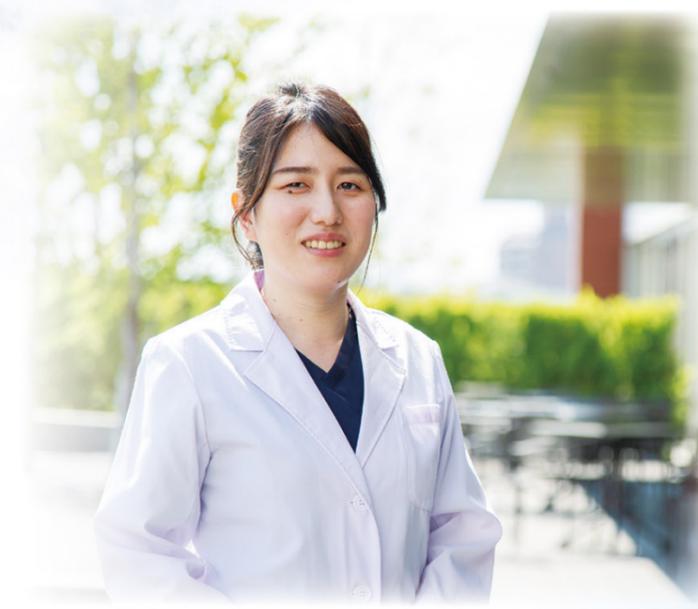
内科専攻医(ホスト科:糖尿病代謝内科)

氏家 啓太 Keita Ujii
卒後5年目 兵庫医科大学卒

私は、卒後3年目より専攻医として入職し、内科のプログラムで研修を行っています。大学病院として豊富な症例があり、内科全ての分野の症例を自院で確保することができるので、環境を変えず腰を据えて研修に集中することができると思い当院を選びました。多くの症例や手技を経験させてもらえる毎日にやりがいを感じつつ、その分自分で考え、対応しなくてはならない場面も多くなり、責任や難しさも感じています。

まだまだ慣れないことが多く勉強の毎日ですが、少しずつ顔見知りのスタッフも増えてきました。アットホームな雰囲気も当院の魅力のひとつだと思います。

また、仙台という都市の住みやすさも病院を選ぶポイントでした。仙台は、「杜の都」と呼ばれる通りだけあって緑も多く、仙台駅周辺は買い物に便利な大型の商業施設があり、飲食店も充実していてとても便利です。仙台駅・空港から全国へのアクセスも良好なので、参加できる学会や勉強会などの幅も広がります。



内科専攻医(ホスト科:腎臓内分泌内科)

加藤 季子 Toshiko Kato
卒後4年目 獨協医科大学卒

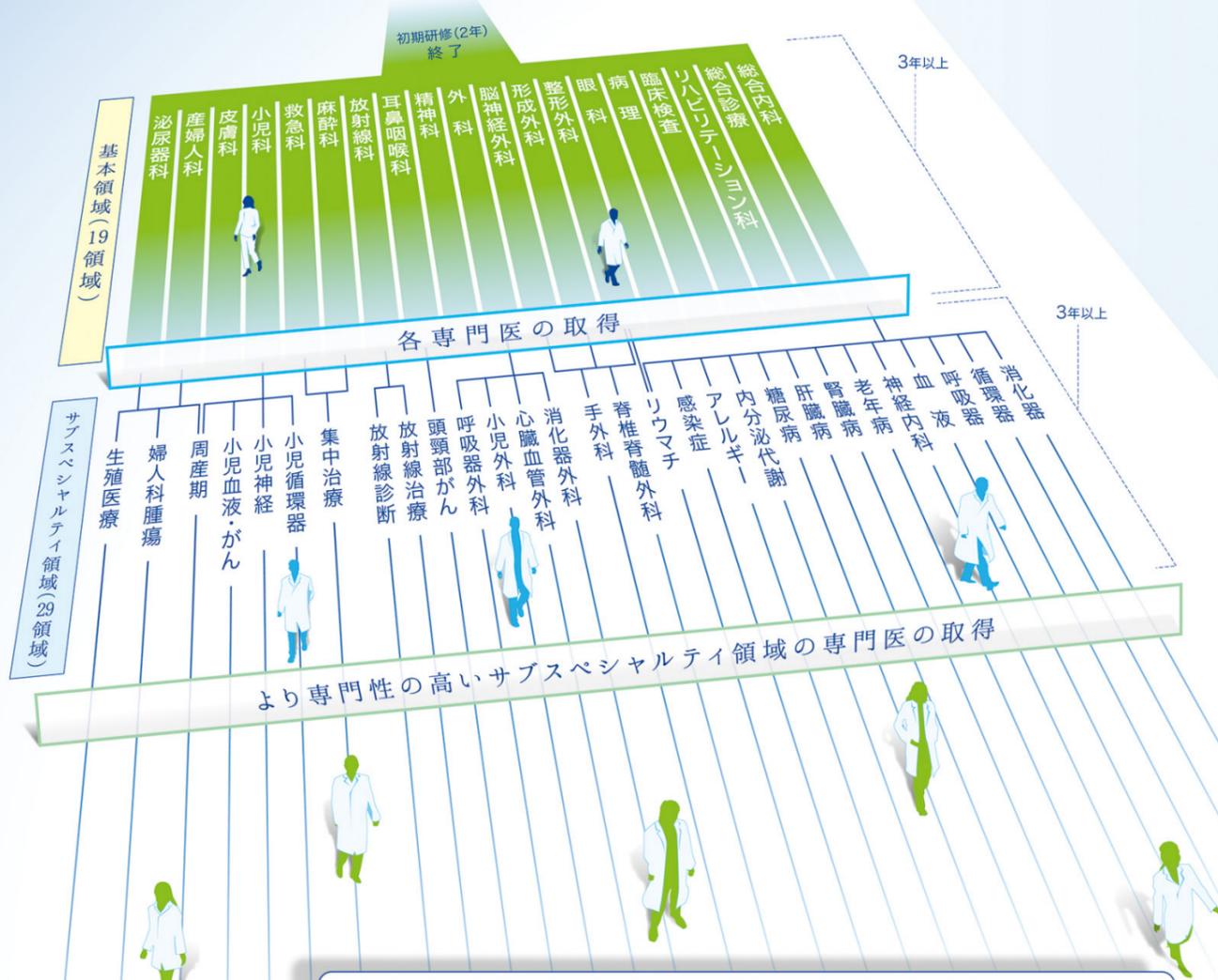


新専門医制度について

基本領域とサブスペシャリティ領域

これまでの専門医制度は、各学会が独自に運営しており、認定基準が統一されておらず、「専門」の質にばらつきがあることなど問題点が指摘されてきました。新専門医制度では、様々な領域における専門医の質を標準化するために、第三者機関である「日本専門医機構」が専門医の認定と養成プログラムの評価・認定を統一的行います。

新専門医制度では、「基本領域」、「サブスペシャリティ領域」の2段階制とし、初期研修を修了した医師は、3年以上の研修で**基本19領域**いずれかの**専門医資格**を取得し、その後、更なる専門性(サブスペシャリティ)を身につけます。



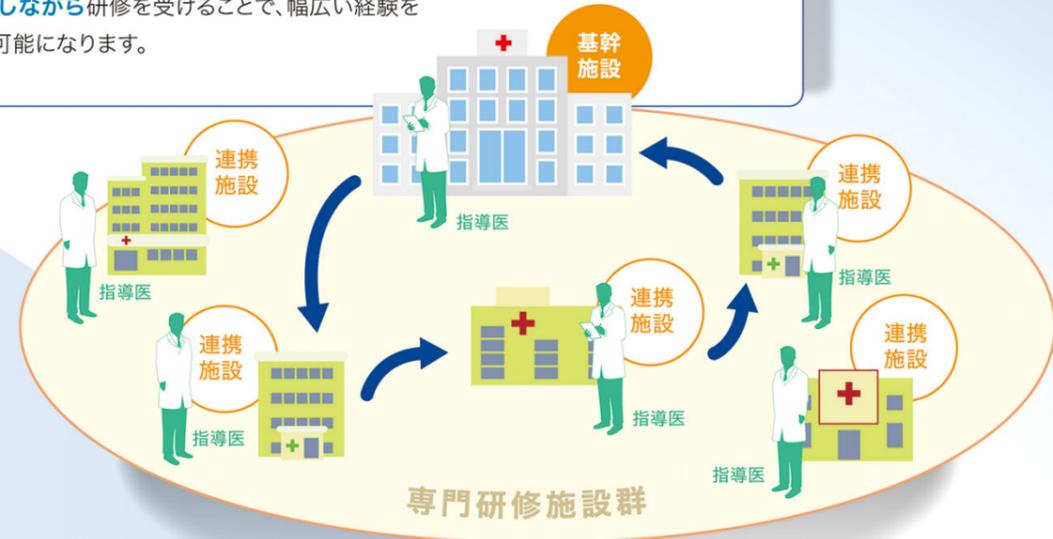
新制度の対象者

対象となるのは、原則として、2017年度以降(2018年3月以降)に初期研修を修了した医師です。2017年度以降に臨床研修を修了した医師が旧制度で専門研修を行っても、専門医の取得はできません。2016年度以前に初期研修を修了し、かつ専門研修を開始していない医師は、領域により新制度での研修が可能です。

基幹病院と連携施設

専門研修は、病院単体ではなく、大学病院等の**基幹施設**と地域の協力病院・診療所等が**連携施設**として専門研修施設群を構成して実施します。

専攻医は、志望する基本領域のプログラムがある**基幹施設**に所属し、**専門研修施設群をローテートしながら**研修を受けることで、幅広い経験を積むことが可能になります。



研修スケジュール

ローテートする連携施設や時期等については、本人の希望を基に調整します。

研修スケジュールと週間スケジュールの例(総合診療専門研修の場合)

(卒後2年目)	1年目(卒後3年目)	2年目(卒後4年目)	3年目(卒後5年目)	
	基幹施設(当院)	連携施設	連携施設	連携施設
初期研修	小児科 → 救急科 → 内科	総合診療 専門研修Ⅱ	総合診療 専門研修Ⅰ	総合診療 専門研修Ⅰ
				●専門医の取得 ●サブスペシャリティ研修

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
朝	●カンファレンス	●カンファレンス	●カンファレンス	●カンファレンス	●カンファレンス
午前	●病棟業務 ●初診外来	●病棟業務	●病棟業務 ●教育カンファレンス ●振り返りカンファレンス	●病棟業務 ●初診外来	●病棟業務
午後	●病棟業務 ●再診外来	●病棟業務	●病棟業務 ●再診外来	●病棟業務	●病棟業務 ●再診外来
夕方	●カンファレンス	●カンファレンス	●カンファレンス ●症例カンファレンス	●カンファレンス	●カンファレンス

プログラム紹介

 基幹施設	内科、外科、小児科、精神科、麻酔科、臨床検査、形成外科、総合診療、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、皮膚科
 基幹施設申請中	なし
 連携施設として参加	産婦人科、眼科、放射線科、病理、救急科、リハビリテーション科、脳神経外科

東北医科薬科大学病院 内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>
佐藤 賢一 先生(消化器内科)
募集定員 **12名** 研修期間 **3年**

当院には10の内科系診療科があり、専攻医3年修了時で「研修手帳(疾患群項目表)」に定められた70疾患群のうち、少なくとも通算で56疾患群、160症例以上を経験し、J-OSLERに登録できる体制としています。可能な限り70疾患群、200症例以上の経験を目標とします。当院と県内外の連携施設をローテーションすることで、希少な症例からコモンな疾患まで診療経験を積むことが可能です。内科領域を幅広く修練する基本コース、将来の専門を見据えたsubspeciality重点コース、地域に重点を置いた地域医療コースの3コースがあり、様々な活動の場や求められる役割に合わせて、総合診療能力を備えた内科専門医を育成します。



連携施設

- 東北医科薬科大学 若林病院 ●JCHO仙台病院 ●石巻市立病院 ●石巻赤十字病院 ●大崎市民病院
- 栗原市立栗原中央病院 ●気仙沼市立病院 ●広南病院 ●公立刈田総合病院 ●仙台医療センター ●仙台市立病院
- 仙台赤十字病院 ●東北大学病院 ●登米市立登米市民病院 ●丸森町国民健康保険丸森病院 ●南三陸病院
- みやぎ県南中核病院 ●宮城厚生協会泉病院 ●涌谷町国民健康保険病院 ●石巻市立牡鹿病院
- 女川町地域医療センター ●公立黒川病院 ●国民健康保険川崎病院 ●塩竈市立病院 ●美里町立南郷病院
- 帯広第一病院 ●中頓別町国民健康保険病院 ●岩手県立胆沢病院 ●山形市立病院済生館 ●いわき市医療センター
- 白河厚生総合病院 ●聖マリアンナ医科大学病院

東北医科薬科大学 外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>
片寄 友 先生(肝胆膵外科)
募集定員 **9名** 研修期間 **3年**

当院は、消化器外科、肝胆膵外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科を有し、サブスペシャリティ領域・外科関連領域の専門医取得までシームレスな指導が可能です。低～高難易度まで豊富な手術バリエーションがあり、充実した教育体制の下、若手医師に積極的に執刀させています。基幹施設である当院と東北地方の22の連携施設が研修施設群を構成し、専攻医の希望に考慮した幅広い外科研修を行うことができるプログラムです。



連携施設

- 東北医科薬科大学 若林病院 ●登米市立登米市民病院 ●栗原市立栗原中央病院 ●南三陸病院 ●石巻市立病院
- 塩竈市立病院 ●宮城厚生協会坂総合病院 ●赤石病院 ●東北労災病院 ●東北大学病院 ●宮城県立子ども病院
- 仙台赤十字病院 ●地域医療機能推進機構仙台南病院 ●みやぎ県南中核病院 ●公立刈田総合病院 ●青森県立中央病院
- 八戸市立市民病院 ●JA秋田厚生連平鹿総合病院 ●JA秋田厚生連大曲厚生医療センター ●公立置賜総合病院
- 白河厚生総合病院 ●いわき市立総合磐城共立病院

東北医科薬科大学 小児科専門医プログラム

<プログラム統括責任者>
森本 哲司 先生(小児科)
募集定員 **2名** 研修期間 **3年**

当院小児科は、感染症などの一般的な小児疾患や予防接種、健診も行っており、大学病院でありながらプライマリケアに必要な知識・技能を確実に修得できます。さらに、それぞれの院内指導医の専門分野(腎、神経・発達、循環器、免疫・アレルギー、遺伝・先天性疾患)では、指導医が手技から治療方針まできめ細かく指導します。また、連携施設での院外研修でその他の専門分野(内分泌・糖尿病、消化器、新生児、血液など)について専門医より指導を受けることが可能です。本プログラムでは宮城県内の第一線の小児病院が研修施設群を構成し、病院の役割や特性に応じて、専門医に必要な全ての分野を経験できます。



連携施設

- 宮城県立子ども病院 ●仙台医療センター ●仙台市立病院 ●仙台赤十字病院 ●みやぎ県南中核病院
- 石巻赤十字病院 ●大崎市民病院 ●気仙沼市立病院 ●坂総合病院

東北医科薬科大学病院連携施設 精神科専門医研修プログラム

<プログラム統括責任者>
鈴木 映二 先生(精神科)
募集定員 **3名** 研修期間 **3年**

当院の精神科は、外来と閉鎖病棟を持つ総合病院精神科であり、うつ病、統合失調症、認知症はもちろん、緩和医療、リエゾン精神医学領域における疾患など、総合病院ならではの症例も経験することができます。県内外11の連携施設の中には、北海道・東北地方で唯一の「医療観察法指定入院施設」や、精神科救急医療が学べる施設などがあり、専攻医の興味やニーズに合わせてローテーションが可能です。



連携施設

- 国立病院機構花巻病院 ●国立病院機構仙台医療センター ●青葉病院 ●あさかホスピタル ●三川病院
- いわき開成病院 ●協和病院 ●こころのホスピタル・古川グリーンヒルズ ●佐藤病院 ●緑ヶ丘病院 ●未来の風せいわ病院

東北医科薬科大学病院 麻酔科専門医研修プログラム

<プログラム統括責任者>
長屋 慶 先生(麻酔科)
募集定員 **4名** 研修期間 **4年**

周術期の生体管理を中心に、救急医療や集中治療における生体管理、疼痛・緩和医療などの領域において、安全で質の高い医療を提供できる麻酔科専門医を育成します。当院には集中治療、ペインクリニック、心臓血管麻酔の専門医が在籍し、麻酔科医としてより総合的な対応能力が高められる環境下で個人の習熟度に応じて柔軟に指導します。とりわけ当院は、心臓血管外科手術、呼吸器外科手術症例が豊富で、心臓麻酔、経食道心エコー、気管支鏡などの十分な経験を積むことができます。



連携施設

- 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター ●社会医療法人将道会総合南東北病院 ●医療法人徳洲会仙台徳洲会病院

東北医科薬科大学 臨床検査専門医研修プログラム

<プログラム統括責任者>
高橋 伸一郎 先生(臨床検査部)
募集定員 **2名** 研修期間 **3年**

臨床検査全般において、その品質の向上と維持に努め、適切で信頼性の高いサービスを通して良質で安全な患者診療に貢献できる臨床検査専門医を育成します。当院では、検査専門医(2名)による指導のみならず、地域における様々な疾患、病態と検査との関連が学べます。カリキュラム制の研修も選択できますので、より検査診断に特化した力量と資質の修得を目指す他領域の専門医の方も歓迎です。



連携施設

- 東北大学病院

東北医科薬科大学 形成外科研修プログラム

<プログラム統括責任者>
權太 浩一 先生(形成外科)
募集定員 **1名** 研修期間 **4年**

当院の使命である「地域医療を支える医師の育成」にかなう、ジェネラリストとしての形成外科医を育成します。具体的には、顔面や手の外傷、皮膚腫瘍・皮下腫瘍、体表瘻管・瘻痕拘縮・ケロイド、糖尿病性足壊疽や褥瘡といった難治性潰瘍、老化に伴う眼瞼やその周囲の機能障害や美容医療対象疾患など、形成外科の一般臨床で遭遇することの多い疾患を自ら診療・執刀できるよう指導を行います。また、研修中に形成外科の専門分野(マイクロサージャリー、手の外科、美容外科など)に興味を抱いた専攻医には、その分野のスペシャリストとなるための基礎作りと橋渡しをします。



連携施設

- 東京大学医学部附属病院

東北医科薬科大学病院 総合診療専門医研修プログラム

<プログラム統括責任者>
古川 勝敏 先生(総合診療科)
募集定員 **6名** 研修期間 **3年**

当院の総合診療科は病床15床を有し、入院診療、一般外来診療を行っています。連携施設には、東日本大震災における復興途上の地域の医療を担う施設もあり、幅広い診療能力を持ち、地域の特性や実情に合わせた実践的な医療が行える総合診療専門医を育成します。



連携施設

- 石巻市立病院 ●石巻市立牡鹿病院 ●登米市立登米市民病院 ●登米市立米谷病院
- 涌谷町国民健康保険病院 ●南三陸病院 ●栗原市立栗原中央病院 ●女川町地域医療センター
- 気仙沼市立病院 ●公立黒川病院

東北医科薬科大学 整形外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>
小澤 浩司 先生(整形外科)

募集定員 3名 研修期間 4年



当院整形外科では、外傷、脊椎外科、関節外科、足の外科、リウマチ、骨代謝などに注力して診療・研究を行っています。連携施設は、外傷、手外科、脊椎外科、関節外科、救急医療、小児整形などそれぞれに特色をもった施設、病院があり、機能的なローテーションにより、プライマリケアから最先端の臨床・研究までを学ぶことができます。本整形外科は、創設から5年が経過したばかりの新しい教室です。スタッフの数は少ないですが、若いスタッフが多く自由に腕をふるえる環境があります。専攻医の皆様が素晴らしい研修環境を提供し、個々の能力を最大限に引き出す研修を行います。

連携施設 ●宮城県立こども病院 ●宮城県立がんセンター ●JCHO仙台病院 ●北海道整形外科記念病院 ●仙台市立病院

東北医科薬科大学 泌尿器科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>
佐藤 信 先生(泌尿器科)

募集定員 4名 研修期間 4年



泌尿器科専門医は様々な泌尿器疾患に対する専門的知識と診療技能を持ちつつ、併存疾患にも対応でき、地域医療連携や他の専門医への紹介・転送の判断も的確に行える総合的診療能力も兼ね備えた専門医です。当大学プログラムは、東北医科薬科大学病院を中心とした東北全県にまたがる診療拠点病院から構成されており、泌尿器科専門医として必要な知識や技能の習得と総合的な医療を的確に行えることを目指します。また国内・海外への学会参加も積極的に支援し、高いリサーチマインドを身に付けられるプログラムとなっています。

連携施設 ●青森県立中央病院 ●八戸市民病院 ●岩手県立中央病院 ●岩手県立大船渡病院 ●大曲厚生医療センター ●平鹿総合病院 ●山形市立病院済生館 ●公立置賜総合病院 ●気仙沼市立病院 ●大崎市民病院 ●石巻赤十字病院 ●東北労災病院 ●仙台医療センター ●仙台市立病院 ●みやぎ県南中核病院 ●いわき市医療センター ●白河厚生病院

東北医科薬科大学 耳鼻咽喉科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>
太田 伸男 先生(耳鼻咽喉科)

募集定員 3名 研修期間 4年



耳鼻咽喉科領域疾患全般において良質・安全・標準的医療を提供でき、常に最先端の医療知識を習得する姿勢を貫き、広く社会貢献する意識をもつ耳鼻咽喉科専門医を育成します。数々の臨床と研究に裏付けされたおもしろいある医療を実践します。専門研修幹施設および専門研修連携施設において外来症例、手術件数ともに到達目標を大きく超過する経験数が可能です。研修終了時には基本的疾患の治療に関して独り立ちしていることが前提となったカリキュラムで、いろいろな仲間と切磋琢磨しながら活躍できます。

連携施設 ●東北大学病院 ●杏林大学付属病院 ●東京女子医科大学病院 ●宮城県立がんセンター ●仙台医療センター ●仙台市立病院 ●東北労災病院 ●いわき市医療センター ●大崎市民病院

東北医科薬科大学医学部 皮膚科研修プログラム

<プログラム統括責任者>
川上 民裕 先生(皮膚科)

募集定員 2名 研修期間 5年



全ての皮膚病に幅広く対応できる専門医を育成します。アレルギーセンターとしてのアレルギー疾患、日本皮膚科学会血管炎班長としての血管炎、リウマチ専門医としての膠原病などが特徴です。アレルギー専門医教育研修施設でアレルギー専門医も取得できます。蛍光ティーチング顕微鏡2台、紫外線照射機・皮膚超音波検査・人工炭酸泉各1台と設備も充実しています。特許を取得したiPS細胞を使用した研究などで多数の英文論文発表があり、皮膚科専任の研究補佐員がおり実験をサポートします。皮膚科スタッフ全員の卒業大学が異なり、学閥がなく、馴染みやすい環境です。

連携施設 ●東北医科薬科大学 若林病院 ●南相馬市立総合病院 ●東北大学病院 ●東北医科薬科大学血液膠原病内科

院内勉強会

専門医に必要な知識やスキルは非常に幅広く、専攻医にはたゆまぬ研鑽が求められます。当院は、専攻医の成長をサポートするために様々な学修の機会を設けており、院内勉強会の開催や各診療科における各種セミナー、カンファレンス、抄読会等を多数実施しています。

研修FAQ

専門研修プログラムについて、よくある質問をご紹介します。



2019年4月 新大学病院棟 誕生



新大学病院棟は、ハイブリッド手術室、バイオクリーンルームを含め手術室9室のほか、リニアックなど高機能の機器を備えた放射線治療室や画像診断室等を有しており、これまで以上に高度で先進的な医療の提供が可能となります。既存病院と合わせた病床数は600床となり、名実ともに大学病院にふさわしい体制が整うことになります。



医療設備 最新鋭の医療機器で低侵襲治療を実現



ハイブリッド手術室



放射線治療装置(リニアック)



血管撮影装置(パイプライン型)



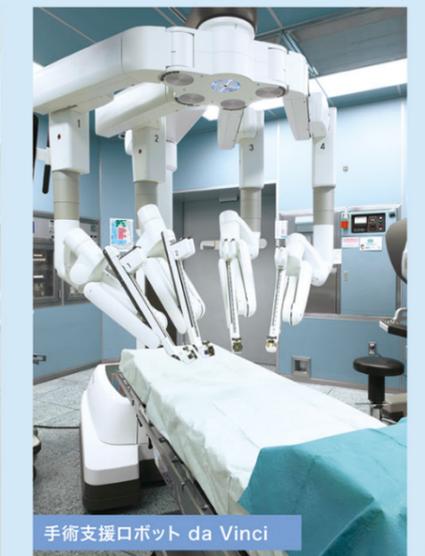
ガンマカメラ装置



MRI装置

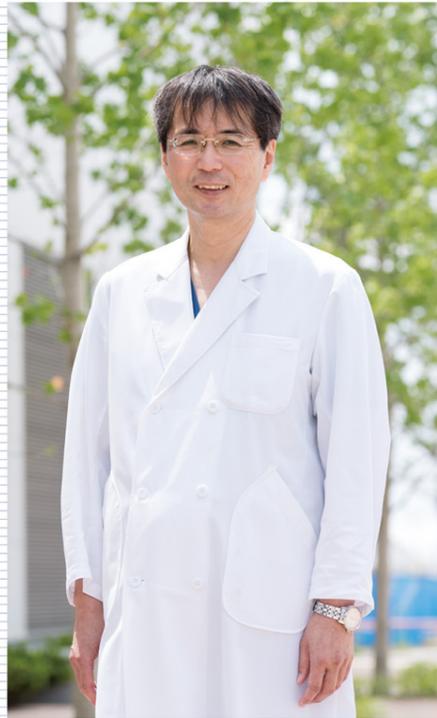


CT装置



手術支援ロボット da Vinci

Message



臨床力と総合力で全人的医療ができる専門医に！

東北医科薬科大学病院は、仙台駅から電車で約15分の距離に位置し、市中心部へのアクセス良好ながら、緑豊かな環境にあります。32の診療科および11の特殊外来、600床の病床を有し、仙台市をはじめ近隣自治体より広く患者さんを受け入れています。

当院の前身である東北厚生年金病院は、1982年よりこの場所で地域の医療を支えてきました。その後、2013年東北薬科大学の附属病院に、そして、2016年にわが国37年ぶりの医学部が新設され、東北医科薬科大学病院として新たなスタートを切りました。医学部附属病院となったことで、診療科の新設や従来の診療科へのスタッフが増員され、現在は、200名を超える医師が在籍しています。2019年には新大学病院棟が完成し、より充実した環境下で研修を行うことができます。

当院は、これまで地域医療へ果たしてきた役割をさらに強化・充実させるとともに、地域医療に貢献できる優秀な医師を育成、さらには、高度医療や研究にも力を注ぎながら、大きく成長していくことを目指します。新しい病院を創り上げるエンジンとなり、それぞれの目標とする医師像の実現に向けて当院と共に成長していける専攻医の皆さんをお待ちしています。

柴田 近 東北医科薬科大学病院
副病院長・卒後研修支援センター長

専攻医募集要項 抜粋

身分	常勤嘱託医
給与・賞与	専門研修1年目 基本給 410,000円程度/月 見込 約6,900,000円程度/年
	専門研修2年目 基本給 420,000円程度/月 見込 約7,100,000円程度/年
	専門研修3年目 基本給 425,000円程度/月 見込 約7,300,000円程度/年 ※見込年収には、賞与年2回、時間外勤務手当を含みます。
各種手当	通勤・賃貸・時間外
勤務時間	1月単位の変形労働時間制(交替制) 日勤) 8:30~17:15、夜勤) 16:00~翌日9:00、その他) 早出、遅出等あり 就業規則に基づき実施
休日・休暇	1月単位の変形労働時間制(交替制)による、週休2日制 年次有給休暇(法定に基づき付与) その他、育児休業、介護休暇等 就業規則に基づき付与
年金・保険	私学共済、雇用保険、労災保険、介護保険加入

東北医科薬科大学病院

〒983-8512
宮城県仙台市宮城野区福室1丁目12番1号
TEL:022-259-1221(代表)

【病院長】 近藤 丘

【病床数】 一般病棟554床 精神病棟46床 計600床

【前身】 1946年 5月 宮城第一病院
1982年10月 新築移転、東北厚生年金病院へ改称
2013年 4月 東北薬科大学病院へ移行・名称変更
2016年 4月 東北医科薬科大学病院へ名称変更



診療科

- 【内科系診療科】 総合診療科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腫瘍内科、糖尿病代謝内科、腎臓内分分泌内科、脳神経内科、感染症内科、血液・リウマチ科
- 【外科系診療科】 呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、肝胆膵外科、乳腺・内分泌外科
- 【その他の診療科】 脳神経外科、整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、がん治療支援(緩和)科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、救急科、麻酔科、歯科口腔外科

施設認定(学会等)(令和2年4月1日現在)

学会名および認定機関	施設認定名称
日本内科学会	日本内科学会認定医制度教育関連病院
日本皮膚科学会	日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本精神神経学会	日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設
日本外科学会	日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本整形外科学会	日本整形外科学会専門医制度研修施設
日本眼科学会	日本眼科学会専門医制度研修施設
日本耳鼻咽喉科学会	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
日本泌尿器科学会	日本泌尿器科学会専門医拠点教育施設
日本医学放射線学会	日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
日本麻酔科学会	日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本病理学会	日本病理学会病理専門医研修認定施設B
日本救急医学会	日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本リハビリテーション医学会	日本リハビリテーション医学会研修施設
日本消化器病学会	日本消化器病学会認定施設
日本循環器学会	日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本呼吸器学会	日本呼吸器学会専門医制度認定施設
日本糖尿病学会	日本糖尿病学会認定教育施設I
日本腎臓学会	日本腎臓学会認定教育施設
日本アレルギー学会	日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設
日本感染症学会	日本感染症学会認定研修施設
日本神経学会	日本神経学会専門医制度教育施設
心臓血管外科専門医認定機構	心臓血管外科専門医認定基幹施設
日本リウマチ学会	日本リウマチ学会教育施設
日本集中治療医学会	日本集中治療医学会専門医研修施設
日本消化器内視鏡学会	日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
日本超音波医学会	日本超音波医学会認定超音波専門医研修基幹施設
日本核医学会	日本核医学会専門医教育病院
日本臨床腫瘍学会	日本臨床腫瘍学会認定研修施設
日本脳卒中学会	日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育施設
日本臨床細胞学会	日本臨床細胞学会認定施設
日本乳癌学会	日本乳癌学会認定施設
日本心血管インターベンション治療学会	日本心血管インターベンション治療学会研修施設
日本呼吸器内視鏡学会	日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
日本胆道学会	日本胆道学会認定指導医制度指導施設
日本動脈硬化学会	日本動脈硬化学会専門医制度教育病院
日本がん治療認定医機構	日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本心臓血管麻酔学会	心臓血管麻酔専門医認定基幹施設
日本消化器外科学会	日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設
日本消化管学会	日本消化管学会胃腸科指導施設
日本老年医学会	日本老年医学会専門医制度認定施設
日本高血圧学会	日本高血圧学会高血圧専門医制度認定施設
日本膵臓学会	日本膵臓学会認定指導医制度指導施設
日本認知症学会	日本認知症学会専門医教育施設
日本緩和医療学会	日本緩和医療学会認定研修施設
日本肝胆膵外科学会	肝胆膵外科高度技能専門医修練施設B
日本婦人科腫瘍学会	日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
日本不整脈心電学会	日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設

指定医療

地域医療支援病院	高次脳機能障害支援拠点病院
臨床研修病院	宮城DMAT指定病院
結核指定医療機関	仙台市認知症疾患医療センター指定病院
救急告示病院	仙台市病院群当番制事業協力病院
災害拠点病院	ISO 15189 認定検査室

専門資格(令和2年4月1日現在)

認定資格名	認定機関	有資格者数
臨床研修指導医講習会受講者	厚生労働省	129名
臨床研修プログラム責任者養成講習会受講者	臨床研修協議会	6名
認定内科医	一般社団法人日本内科学会	74名
総合内科専門医	一般社団法人日本内科学会	44名
プライマリ・ケア認定医	一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会	4名
外科専門医	一般社団法人日本外科学会	33名
小児科専門医	公益社団法人日本小児科学会	5名
精神科専門医	公益社団法人日本精神神経学会	6名
麻酔科標榜医	厚生労働省	4名
臨床検査専門医	一般社団法人臨床検査医学会	1名
形成外科専門医	一般社団法人形成外科学会	3名
整形外科専門医	公益社団法人日本整形外科学会	6名
泌尿器科専門医	一般社団法人日本泌尿器科学会	4名
耳鼻咽喉科専門医	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会	5名
皮膚科専門医	公益社団法人日本皮膚科学会	8名
呼吸器専門医	一般社団法人日本呼吸器学会	8名
循環器専門医	一般社団法人日本循環器学会	13名
消化器病専門医	一般社団法人日本消化器病学会	10名
消化器内視鏡専門医	一般社団法人日本消化器内視鏡学会	6名
糖尿病専門医	一般社団法人日本糖尿病学会	4名
腎臓専門医	一般社団法人日本腎臓学会	5名
透析専門医	一般社団法人日本透析医学会	3名
神経内科専門医	一般社団法人日本神経学会	8名
ICD(Infercion Control Doctor)	ICD制度協議会	7名
呼吸器外科専門医	呼吸器外科専門医合同委員会	5名
消化器外科専門医	一般社団法人日本消化器外科学会	8名
心臓血管外科専門医	3学会構成心臓血管外科専門医認定機構	3名
脳神経外科専門医	一般社団法人日本脳神経外科学会	4名
血液専門医	一般社団法人日本血液学会	5名
リウマチ専門医	一般社団法人日本リウマチ学会	4名
産婦人科専門医	公益社団法人日本産科婦人科学会	5名
眼科専門医	公益社団法人日本眼科学会	3名
放射線診断専門医	公益社団法人日本医学放射線学会	5名
放射線治療専門医	公益社団法人日本医学放射線学会	1名
認定病理専門医	一般社団法人日本病理学会	3名
がん治療認定医	日本がん治療認定医機構	13名
認定産業医	日本医師会	23名